

# 露地野菜栽培を加速

## 水稲との複合経営に

【三重・伊勢】JA伊勢は、熊野市と御浜町、紀宝町の3市町で、水稲との複合経営作物として、露地作物の栽培を推進している。本年度は、生産者9戸が「おでん大根」やブロッコリー、ニンニク、タマネギなどを計64畝に作付けた。同JAは、JA共済の支援を受けてダイコン洗浄機を導入。取り組みを加速化させている。

## ダイコン洗浄機導入 JA伊勢



この取り組みで、11日には「おでん大根」の収穫が始まり、職員らが立ち合って出荷作業を行った。試験栽培の昨年は病虫害がみられたが、今年は、生産者の小まめな防除作業と、県やJAの支援強化で、順調な仕上がりととなった。地元の市場と、同JAのファーマ

「おでん大根」を洗浄する関係者

## 「青島温州」スタート

静岡・JAみっかび きょうにも店頭へ

【静岡・みっかび】

JAみっかびは16日、温州ミカンの主力「青島温州」の集荷を始めた。初日は生産者185戸が400トを柑橘（かんきつ）選果場に持ち込んだ。県内の早いところでは17日午後には店頭にも並び見込み。早生ミカン同様に機能性のベータクリプトキサンチンとガンマアミノ酪酸（GABA）（ギャバ）を表示する。



ミカン収穫に励む清水さん

「ズマーケット」ほぼ「えみかん」に出荷する。

に貸し出す。洗浄作業のスピードが上がり、生産者の作業効率の向上や労力軽減につながっている。

## 県内5JA青年部

### 岐阜・盟友のつどい

## 組織活性化へ研修

【岐阜・いび川】県農協青年部連絡協議会といび川農協青年部は12月上旬、本年度の「盟友のつどい」を、JAいび川管内などで開いた。県内5JAの青年部や関係者など、97人が参加した。情報交換を通じて組織の活

性化を図る目的で、視察研修と講演会を実施した。

視察研修では、「細野ファーム」の細野晃大さんが、トマトの生産や加工品の販売方法などを説明した。同JAが運営する「大野果実共同選果場」と「よ

## 良質出荷へ

### 目ざろえ

### 冬トマト

静岡・JA大井川

【静岡・大井川】JA大井川園芸協議会トマト部会は12月上旬、焼津市の同JA大富共選場で、冬トマトの目ざろえ会を開いた。部会員5人と市場の担当、J

Aの職員が参加し、要の出荷に向けたの確認や今後の出計画を検討した。

同部会の大場弘長は「気温も下がりが遅くなっている。暖房の温度を高め、出し出荷量を維持し」と呼びかけた。担当者は「猛暑のる小玉傾向で収量が、平たく安定し、見込まれる」と見

### サニール

静岡・JAハ

【静岡・ハイナ